



# 総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン

—令和元年度総集編—

## お知らせ

日本スポーツ協会に関連する情報や  
総合型クラブに関する  
セミナー情報等を紹介しました。



公益財団法人

日本スポーツ協会

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。  
スポーツ振興くじについては以下から  
[日本スポーツ振興センターHP] <http://www.jpnsport.go.jp/>

スポーツくじ  

スポーツ振興くじ助成事業

## お知らせ

### 日本スポーツ協会情報

日本スポーツ協会公式SNS (facebook、Twitter) アカウントを開設・運用開始	-----	3
スポーツ庁「平成30年度スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」報告書の掲載	-----	3
「女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック」作成	-----	4
日本スポーツ協会事業概要パンフレット公開	-----	4
「健幸華齢のためのスマートライフ」書籍情報	-----	4
「健幸華齢のためのスマートエクササイズ講習会」講師派遣	-----	5
「実践！グッドコーチング」書籍情報	-----	5

### 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格情報

2019年度公認アシスタントマネジャー養成コース実施予定団体一覧を掲載！	-----	5
公認スポーツ指導者制度が改定施行	-----	6
2020年4月1日付公認スポーツ指導者登録・更新手続きのお知らせ	-----	6
「スポーツリーダー養成講座(通信講座)」の終了について	-----	7

### イベント情報

2019年度総合型地域スポーツクラブヒューマンエラー防止研修会開催	-----	7
第2回ジュニアスポーツフォーラム開催	-----	7
幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会開催	-----	8
第26回TAFISAワールドコンGRESS2019東京開催	-----	8
女性スポーツサポート研修会 参加者募集中	-----	8
第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体	-----	9
2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプの参加団員募集中	-----	10
「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」講習会	-----	10
生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020開催	-----	11
令和元年度公認スポーツ指導者競技別研修会「グッドコーチング・スキルアップ研修」	-----	11

## お知らせ

令和元年度Japan Sport Convention -JSPO加盟団体経営フォーラム開催	11
ブロック別クラブネットワークアクション2019開催報告	12
令和元年度公認クラブマネジャー研修会開催	12
第47回日独スポーツ少年団同時交流団員・指導者募集中	13
<b>熱中症対策情報</b>	13
<b>2019年度ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト(J-STARプロジェクト)</b>	
J-STARプロジェクトエントリー受付【3期生】&PRイベント開催のお知らせ	14
J-STARプロジェクトPRイベント終了報告&測定会実施のお知らせ	15
パラリンピック競技 西地区(福岡)会場 測定会開催報告	16
<b>「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン情報</b>	
フェアプレイスクール開催	17
「2019フェアプレイ会議」「フェアプレーについて考えるJSPO・NF会議2019」を開催!	18
<b>スポーツ庁からのお知らせ</b>	
スポーツ共創人材育成ワークショップ合宿2019	19
第3回ジャパンSDGsアワードの公募開始	20
スポーツ庁「第3回パブコン～もしもあなたがスポーツ庁長官だったら～」 国民のスポーツ実施率向上のための事業プランの公募	21
<b>令和元年度生涯スポーツ功労者が決定しました!</b>	21
<b>ラグビーワールドカップ2019TM日本大会情報</b>	21
<b>ワールドマスターズゲームズ情報</b>	
2021年は「する」スポーツの年ワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催	22
<b>クラブアドバイザーミーティング</b>	23



## お知らせ

### ■日本スポーツ協会情報

#### 日本スポーツ協会公式SNS (facebook、Twitter) アカウントを開設・運用開始

日本スポーツ協会が行うスポーツ推進各種方策や当協会そのものについて、より多くの方に認知いただき、また、これまで以上に親しみ・共感をもっていただけるよう、公式SNSを開設し運用を開始しました。

日本スポーツ協会が行う各種事業を、よりタイムリーにお知らせしていきますので、ぜひご覧いただき「フォロー/いいね！」いただければ幸いです。

##### facebookアカウント

名称: JSPO - 日本スポーツ協会

ID: JSPO.Association

<https://www.facebook.com/JSPO.Association/>

##### Twitterアカウント

名称: JSPO (日本スポーツ協会)

ID: JSPO\_official

[https://twitter.com/JSPO\\_official](https://twitter.com/JSPO_official)

#### スポーツ庁「平成30年度スポーツ活動支援事業（総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業）」報告書の掲載

当該事業の報告書が、スポーツ庁ホームページにおいて公表されましたのでお知らせします。

第2期スポーツ基本計画においては、総合型地域スポーツクラブの質的充実が掲げられており、登録・認証制度を新たに構築することとしています。

標記委託事業では、この登録・認証制度の構築に向けて制度モデル案を作成し、試行・検証を行いました。

スポーツ庁ホームページの報告書掲載ページ

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1415530.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1415530.htm)

## 「女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック」作成

日本スポーツ協会では、女性のスポーツ参加を手助けするスポーツ指導者等の支援者に向けて、女性を対象としたスポーツ指導や、スポーツへの参加を促す上で留意すべき医・科学的知見をまとめたハンドブックを作成しました。

女性とスポーツに関する課題の解決には、女性の発育発達や身体活動量に応じた指導や、年代・ライフステージ・志向などにより変化する女性の考え方に合わせた働きかけが求められます。このハンドブックには、「スポーツ指導者」「保護者」「学校関係者」といった支援者の皆さんが、女性の身体的特徴や意欲・ニーズに合った楽しみ方を理解することで、一人でも多くの女性が健やかに、美しく、そして生活を楽しむことができるスポーツ環境が創られてほしいとの願いが込められています。

ぜひ皆様もご一読ください。

女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブックのダウンロードはこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid776.html#guidew01>

## 日本スポーツ協会事業概要パンフレット公開

日本スポーツ協会事業概要紹介パンフレット「スポーツと、望む未来へ。平成30年度事業概要」を公開しました。

事業概要パンフレットはこちら

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho\\_kyanpen/doc/JSP0\\_outline2019.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/koho_kyanpen/doc/JSP0_outline2019.pdf)

## 「健幸華齢のためのスマートライフ」書籍情報

多くの人々が身体的・精神的・社会的なフレイル化への移行を阻止し、心身の両面で良好な状態をできるだけ長く維持できることを願い、スマートライフのあり方について解説した書籍です。本書籍では、運動・食事については、一般論だけでなく、効果的で魅力のあるプログラムを紹介していますので、ぜひご覧ください。

書籍目次や購入についてはこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid777.html#kanren11>

## 「健幸華齢のためのスマートエクササイズ講習会」講師派遣

健幸華齢の実現ができる地域づくりに取り組みたい地方公共団体や、都道府県体育・スポーツ協会、その他健康・スポーツ関係団体等を対象に、スマートエクササイズを普及する講習会、スマートエクササイズを普及するリーダーを育成する講習会が開催できるよう講師を派遣しています。

講師派遣概要はこちらから

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/MM147\\_karei.PDF](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/MM147_karei.PDF)

## 「実践！グッドコーチング」書籍情報

日本スポーツ協会は、株式会社PHP研究所から発刊されている下記書籍の制作に協力しています。

本書は、スポーツ指導者を対象とし、暴力・パワハラを起こさないために指導者として身につけるべき基本となる考え方や、様々なパワハラ事案への対応を、イラストを交えてわかりやすく解説したものとなりますので、ぜひ、ご活用ください。

なお、本書は書店では販売しておりません。お求めの際は、特設サイトからご注文ください。

- 書籍名： 「暴力・パワハラのないスポーツ指導を目指して～実践！グッドコーチング」
- 価格： 660円(税込) ※100部以上お求めの場合は1部594円(税込)
- 送料： 部数によって別途 ※8部以上お求めの場合は無料

特設サイト

<https://www.php.co.jp/goodcoaching/>

【本書に関する問合せ先】

PHP研究所直販普及本部企画普及部 TEL:075-681-8733

## ■日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格情報

### 2019年度公認アシスタントマネジャー養成コース実施予定団体一覧を掲載！

公認アシスタントマネジャーは、総合型クラブなどにおいてクラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるようクラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートする方を対象とした資格です。

2019年度の公認アシスタントマネジャー資格概要および資格取得のための養成コース実施予定団体はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid220.html>

## 公認スポーツ指導者制度が改定施行

2019年4月1日、公認スポーツ指導者資格の養成カリキュラムに「モデル・コア・カリキュラム(MCC)」を反映させた、公認スポーツ指導者制度が改定施行しました。

公認スポーツ指導者制度の改定に伴い、競技別指導者資格(教師・上級教師を除く)の名称が変更になりました。

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid1198.html>

## 指導者資格情報

2019年10月1日付公認スポーツ指導者登録・更新手続きを開始します。

資格の取得および資格継続のために必要な手続きとなりますので、該当する方は期限までにお手続きいただきますようお願いいたします。

なお、該当の方には7月下旬に登録住所あてに登録手続き書類をお送りします。

(指導者マイページ保有者にはメールでもお知らせします。)

資格登録内容をご確認の上、登録料のお支払いをお願いいたします。

## 2020年4月1日付公認スポーツ指導者登録・更新手続きのお知らせ

2020年4月1日付公認スポーツ指導者登録・更新手続きを1月下旬から受付開始します。

資格の取得・継続のために必要な手続きになりますので、該当する方はお早めのお手続きをお願いします。

■受付期間:2020年1月下旬～2020年3月31日(火)

■手続き方法

2020年1月下旬に登録住所宛てに登録手続き書類(ハガキまたは封筒)を送付(指導者マイページに登録している方にはメールでも通知)します。

資格登録内容を確認のうえ、登録料のお支払いをお願いします。手続きの詳細は書類や指導者マイページをご覧ください。

## 「スポーツリーダー養成講座(通信講座)」の終了について

スポーツリーダーは、地域におけるスポーツグループやサークル等のリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる方のための資格です。

これまでNHK学園にて開講してまいりました「スポーツリーダー養成講座」は、2019年度冬期(2020年1月末までの受講申込)をもって終了となります。

2019年度冬期の受講申込受付は以下が最終締切となりますので、ご注意ください。

■ハガキ・FAXの場合…1月31日(金)必着

■Webからの申込の場合…1月31日(金)17:00まで

なお、2020年度春期(2020年2月スタート)からは、同じくNHK学園の通信講座「コーチングアシスタント養成講座」として新しく生まれ変わります。

※詳細につきましては、後日あらためてご案内を当協会ホームページに掲載いたします。

※スポーツリーダーは永年認定資格であるため、新規養成終了後も資格の認定は継続されます。

詳細はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid205.html>

## ■ イベント情報

### 2019年度総合型地域スポーツクラブ ヒューマンエラー防止研修会開催

本研修会は、心理的アプローチからリスクマネジメントを学ぶことで「ヒューマンエラー(事故や損害の原因となる人為ミス)」の防止に係る意識の啓発を図り、安全・安心なクラブ経営に資することを目的に開催しています。

開催日時・場所等詳細はこちら

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1073.html>

### 第2回ジュニアスポーツフォーラム開催

ジュニアスポーツに関わる指導者及びスポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、スポーツ活動に欠かすことのできない安全・安心な環境の整備に資するために、指導者・リーダー及び法律実務家、研究者を一堂に会し、フォーラムを6月16日(日)に東京都内で開催します。

開催日時・場所等詳細については以下のURLを参照ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/club/tabid287.html>

【申込締切】令和元年5月24日(金)



### 【開催概要】

- 開催日時・会場
  - 東京会場① 2019年10月 6日(日)／明治大学駿河台キャンパス
  - 大阪会場 2019年11月10日(日)／TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋
  - 東京会場② 2019年12月15日(日)／明治大学駿河台キャンパス
- 定員 各会場200名(先着順)
- 参加申込 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格マイページよりお申込みください。

## 第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体

国民体育大会インターネット動画配信が今大会よりスタート！！  
～国体の全競技決勝がインターネットで観戦できます～

日本スポーツ協会(JSPO)と、本年の第74回国民体育大会本大会開催県である“いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会”は、JSPOオフィシャルパートナー・国体パートナーである株式会社時事通信社と連携し、国民体育大会(国体)初となるインターネット動画配信サービス「JSPOTV 国体チャンネル」を開設！！

なんと、国体の全競技決勝(389本)を配信！現地に応援に行けなくても、郷土の代表を応援したり、トップアスリートのプレーをインターネット上で無料で観戦できます。また、全37競技をご覧いただけるので、これまで知らなかった競技・種目の魅力も発見できるかもしれません。

JSPOではより多くの方に、国体に参加するオリンピックや2020東京オリンピックで活躍が期待される有望アスリートをはじめ、県の代表として全国から集まったアスリートを応援していただきたいという想いのもと、国体の開催だけでなくスポーツを「みる」環境づくりにも注力しています。年に一度開催される都道府県スポーツナンバーワンを決める国体、ぜひ「JSPOTV 国体チャンネル」をご覧ください！！



国体チャンネルの紹介動画はこちらから

<https://prtimes.jp/tv/detail/1042>

国体チャンネルはこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/jspo-tv>

→ 「国体チャンネル」をクリック！ ※パソコンでもスマートフォン・タブレットでもご覧いただけます。

※また、JSPOでは新たなオウンドメディアとして「JSPO Plus」のサイトを開設しました。

こちらも合わせてぜひチェックを！！

<https://media.japan-sports.or.jp/>

## 2020年日独スポーツ少年団ユースキャンプの参加団員募集中

本キャンプは、言語や文化を超えた両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とし、ドイツスポーツユージュメントとドイツオリンピックアカデミーと共同で開催します。

期間中は、日独両国の団員におけるディスカッションやスポーツ交流をはじめ、オリンピック競技観戦やオリンピックとの交流を実施する予定です。

スポーツ少年団登録者で参加を希望される方は、所属都道府県スポーツ少年団までお申込みください。

### 募集期間

【団員】 2019年8月1日(木)～9月30日(月)

### 開催概要

- 開催日 2020年7月23日(木)～8月6日(木) 15日間
- 宿泊施設 埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
- 参加者 日本団 団員50名 指導者10名
- 参加資格 原則として団員は15歳～21歳、指導者は50歳以下(2020年4月1日時点)ほか
- 参加料 15万円(期間中の滞在費、食事代、交通費、観戦チケット代含む)※税込



## 「体育・スポーツにおける多様な性のあり方」講習会

体育・スポーツにおける多様な性のあり方に関する知識提供を行うとともに、LGBT等のセクシャル・マイノリティの当事者や、スポーツ指導者が抱える困難さや課題の実態把握をさらに進めていくことを目的に開催します。

当日は、自身に「彼女」がいることを公表している下山志帆選手(スフィーダ世田谷・サッカー)をお招きし、現役アスリートと専門家の対談を行います。

その他、多様な性のあり方に関する最近の国際情勢や、スポーツ指導者の意識調査の結果、スポーツ関係団体が実施している先進事例などを紹介します。

日時 令和元年12月21日(土)  
 会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 14階岸清一記念メモリアルルーム  
 受講料 2,200円(資料代税込み)  
 申込締切 12月6日(金)

開催概要・参加申込はこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid1242.html>

## 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2020開催

本会議では、スポーツ立国の実現に向けて、スポーツに関連する多様な人々が一堂に会し、研究協議や意見交換を行い、今後のスポーツ推進方策について検討します。

主催	スポーツ庁／生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会
日時	令和2年2月7日(金) 10:00～
会場	松江しんじ湖温泉ホテル一畑
参加費等 参加費	1人2,000円(資料代込み)
弁当代	1人1,200円(希望者のみ)
情報交換会会費	1人5,000円(希望者のみ)
申込締切	12月20日(金)

開催概要はこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/about/event/zennkokukaigi/tabid200.html>

## 令和元年度公認スポーツ指導者競技別研修会 「グッドコーチング・スキルアップ研修」

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードのもとスポーツ活動現場において指導対象者やアントラージュとのより良い関係を構築するとともに、その対象者や状況等に応じた知識・技能を活用できる実践力を高めることを目指し、全国5会場で研修会を実施します。

開催概要・参加申込はこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid241.html>

## 令和元年度Japan Sport Convention -JSPC加盟団体経営フォーラム開催

スポーツ団体が、高度化・専門化する法人運営に適切に対応することを通じて、社会から期待されるインテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を実現することを目的に、スポーツ団体の運営に関わる役職員を主な対象としたフォーラムを開催いたします。

法人運営の足元を固め、すぐに実務に活かせるワークショップ形式の「法人運営」と、スポーツ団体の将来を構想するための講演・パネルディスカッション形式の「イノベーション」をテーマに設定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。



主催	公益財団法人日本スポーツ協会
協力	公益財団法人JKA
日時	令和2年3月17日(火)・18日(水)
会場	グランドプリンスホテル高輪
参加費	一般参加者5,500円(税込/資料代・1日目昼食代含む)弁当代
申込締切	令和2年2月28日(金)

開催概要・参加申込はこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/about/event/zennkokukaigi/tabid200.html>

## ブロック別クラブネットワークアクション2019開催報告

【公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会主催】

総合型地域スポーツクラブ関係者が抱える課題解決の糸口を探るための情報の共有化や、クラブ育成支援のためのネットワークの強化を図ることなどを目的として全国9ブロックでクラブネットワークアクションを開催しました。

各ブロック開催報告はこちら

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/508/Default.aspx>

## 令和元年度公認クラブマネジャー研修会開催

公認クラブマネジャー研修会は、当協会公認クラブマネジャーの資質の向上および公認クラブマネジャーの連携を図ることを目的に毎年開催しています。

本年度の開催日は以下のとおりとなりますのでぜひ参加をご検討ください。

日時	令和2年2月1日(土) 13:00~17:00(予定)
場所	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内会議室 〒160-0013新宿区霞ヶ丘町4-2 (最寄駅:外苑前、千駄ヶ谷駅、信濃町駅)
定員	50名(先着順)
参加料	5,500円(税込)
申込方法	指導者マイページよりお申込みください。

<https://my.japan-sports.or.jp/login>

※参加決定者には別途本会より参加決定通知をお送りします。

申込締切 令和2年1月26日(日)

※定員に達し次第、申込を締め切ります。

開催概要はこちらから

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid245.html#01>

## 第47回日独スポーツ少年団同時交流団員・指導者募集中

本事業は、日独両国のスポーツ少年団の青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的な能力を高めると共に両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的としています。1974(昭和49)年から継続して実施しており、これまで両国あわせて1万人以上の青少年、指導者が交流に参加しています。

令和2年度は、以下の期間で実施いたします。

期間 令和2年7月27日(月)～8月6日(木)9泊11日

※日本団集合(結団式)7月26日(日)

交流概要はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/international/tabid552.html>

お申し込みされる場合は、所属の市区町村スポーツ少年団、都道府県スポーツ少年団からの推薦が必要になります。

詳細につきましては所属の市区町村スポーツ少年団へお問い合わせください。

## ■熱中症対策情報

暑いとき、屋内外のスポーツ活動で特に気をつけたいのが熱中症。

熱中症を予防することで、重症例や死亡事故を防ぐことができます。

「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」が6年ぶりに改訂されました。

実践に近い身近な情報も掲載していますので、ガイドブックを読んで、熱中症を予防しましょう！

スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック(デジタル版PDF)はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid776.html#guide01>

スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック改訂のポイントはこちら

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke\\_leaflet201905.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/supoken/doc/heatstroke_leaflet201905.pdf)

## ■2019年度ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト (J-STARプロジェクト)

### J-STARプロジェクトエントリー受付【3期生】&PRイベント開催のお知らせ

2019年度J-STARプロジェクトのエントリー受付を6月17日(月)からスタートしています！

2019年度J-STARプロジェクトのチラシはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp//Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/Jstar.pdf>

＜エントリー方法・条件等＞

J-STARプロジェクトホームページをご覧ください。

<https://www.j-star.info/>

※団体ごとで一括申し込いただく方法もございます。

皆さまのクラブの会員や関係者の方の中で、

「将来オリンピック・パラリンピックに出場してみたい人」

「いま取り組んでいる競技以外の競技もやってみたい人」など、何かにチャレンジしたい中・高校生、障がい者の方が身近にいらっしゃいましたら是非ご参加を呼び掛けていただければと思います。

誰しにもチャンスはあります。

「道はひとつじゃない新たな競技へチャレンジ！」

たくさんのご応募お待ちしております！

また、J-STARプロジェクトに関するPRイベントを下記の通り開催いたしますので、お近くの方はぜひご参加ください。

イベント名： J-STAR SPORTS FESTIVAL 2019

日時： 8月13日(火)10:00～16:00(予定)

場所： 静岡県小笠山総合運動公園エコパ(最寄駅:JR愛野駅)

内容： 中・高校生ライジングスター決定戦、特別講演(谷本道哉氏)、  
トークショー(室伏由佳氏・杉本美香氏・廣瀬誠氏・北澤豪氏)、ミニ運動会、  
J-STAR競技体験、ジュニアアスリートのための栄養講座など

★参加者の方に抽選でスペシャルプレゼントもご用意！！

※公認スポーツ指導者資格の更新研修の対象イベント

イベントの詳細(チラシ)はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp//Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/R1/JstarFes.pdf>

## J-STARプロジェクトPRイベント終了報告&測定会実施のお知らせ

### PRイベント終了報告

8月13日(火)静岡県エコパアリーナにて、中・高校生等の夢を応援するJ-STARプロジェクトPRイベント「J-STAR SPORTS FESTIVAL 2019」を開催しました。

会場には、中高生約30名をはじめ、子どもから大人まで一般の方を含め約300人が来場し、さまざまなスポーツを体験、活気のある一日となりました。中でも、J-STARプロジェクトの対象である中高生たちは、3人一組のチームに分かれ、垂直飛びや30m走などの運動能力の測定に挑戦しました。



競技体験(ウエイトリフティング)の様子



中高生No.1決定戦の様子

このほかミニ運動会や近畿大学の谷本道哉先生、サッカー元日本代表の北澤豪さん、日本ラグビーフットボール協会の清宮克幸副会長ら豪華ゲストによるトークショーも開催しました。



ミニ運動会の様子



左から室伏氏、杉本氏、廣瀬氏、北澤氏、清宮氏、谷本氏

イベント詳細については、ホームページをご覧ください。

<https://www.j-star.info/event/2019/>

## パラリンピック競技 西地区(福岡)会場 測定会開催報告<第1回>

9月8日(日)に福岡県・アクション福岡にてパラリンピック競技の測定会を実施しました。当日は10名の参加者が、自分の適性に合った競技を見つけるべく、さまざまな競技の測定にチャレンジしました。



また、3期生のエントリーについて、下記のとおりオリンピック競技・パラリンピック競技ともに追加募集を行っておりますので、たくさんの方のご応募、お待ちしております！！

### 【オリンピック競技】

- 北海道・東北エリア以外の全会場:9/2(月)→9/29(日)まで延長
- ※北海道・東北エリア(北海道)会場については申込を〆切ました。

### 【パラリンピック競技】

- 東地区②(横浜)会場(11/4開催):8/19(月)→9/29(日)まで延長
- ※東地区①(東京)会場・中地区(京都)会場・西地区(福岡)会場については申込を〆切ました。

### 【エントリー方法・条件等】

J-STARプロジェクトホームページをご覧ください。

<https://www.j-star.info/>

※団体ごとで一括申し込いただく方法もございます。

### 【本件に関する問合せ先】

日本スポーツ協会 国体推進部 競技支援課

Eメール: [kyougi@japan-sports.or.jp](mailto:kyougi@japan-sports.or.jp)

TEL:03-6910-5809

FAX:03-6910-5820

## ■「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン情報

### フェアプレイスクール開催

7月11日(木)、東京都港区立御田小学校にて今年度第1回目の“フェアプレイスクール”を開催しました！

フェアプレイスクールとは、世界で活躍した元トップアスリートが、子どもたちにフェアプレーの精神や行動を伝えるため、全国の小中学校・特別支援学校に訪問しフェアプレーについての講義とスポーツ体験授業を行うものです。

当日は元競泳選手でオリンピックメダリストの星奈津美さんを講師として実施。同校4年生59人が参加し、一緒にフェアプレーを考え、実際にフェアプレーを体感する実習を行いました。



#### ●当日の詳細

<https://www.facebook.com/JSPO.Association/posts/2344309218958890>

#### ●JSPOの「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンはコチラ

<https://www.japan-sports.or.jp/fair/>

※今年度のフェアプレイスクールは、今回を含め計10校を全国各地で開催予定です。

## 「2019フェアプレイ会議」「フェアプレーについて考えるJSPO・NF会議2019」を開催！

12月19日、JSPOが昨年に引き続き2回目の「2019フェアプレイ会議」と、今回が初めてとなる「フェアプレーについて考えるJSPO・NF会議2019」を開催しました。

これらの会議はそれぞれ、「スポーツやわが国の未来を担う“若者”がフェアプレーの意義などについて意見交換し、より幅広くフェアプレーを浸透させる」こと、同時に「実際に中央競技団体(NF)の中核として運営に携わる役職員がフェアプレーの考えや課題を共有し意識を一つにするためのきっかけとする」ことを目的とし、隣接する会場で実施しました。

会議中は参加者全員がフェアプレーを再確認し、考え、議論しました。

そして、会議の最後には、両会議参加者が合流し、若者たちは「祝福される勝者、尊敬される敗者に」、「スポーツとそれに関わる全ての人を尊敬し続ける」、「自分が誇れる自分に」といったフェアプレイ宣言を、NF関係者たちは「プレーヤーにフェアプレーを浸透させるにはまず役員が実践」、「スポーツを伝えるコーチの役割が最も重要」といったNFとしてフェアプレー浸透にどのように取り組むかの決意表明をお互いに向け発表しました。

さながらエール交換のようにお互いの熱い思いが混じり合い、スポーツ界全体でフェアプレーを推進していくエネルギーが沸き上がる雰囲気にもまれ、幕を閉じました。

当日の詳細はこちら

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4083>



## ■スポーツ庁からのお知らせ

### スポーツ共創人材育成ワークショップ合宿2019

スポーツ庁委託事業「2019年度スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・新たなアプローチ展開」の一環として開催される「スポーツ共創人材育成ワークショップ合宿2019」に関するご案内です。

スポーツ庁では平成29年度より、自分たちのスポーツを自分たちでつくる「スポーツ共創」という取り組みを行っています。

これは「する、みる、ささえる」というスポーツの軸に「つくる」という軸を加えることで、親しみやすい新たなスポーツを生み出し、スポーツ無関心層が興味を持ち、実施可能なスポーツの選択肢を広げ、スポーツ人口の拡大を図ることを目的としています。こうした「スポーツ共創」活動を自分たちの場で実践する人材を増やすためのワークショップが開催されます。

今回は特に、スポーツ共創の先導をし、学校の授業や運動家・地域イベント等を設計、運営する人が対象となっておりますので、ご興味がある方は、ぜひお申込みください。

#### 【スポーツ共創ワークショップ合宿】

- 日時： 2019年9月14日(土)～16日(祝) ※合宿2泊3日間  
場所： お茶の水女子大学附属小学校  
定員： 40名程度(定員に達した場合、参加者の選考を行います)  
参加費： 無料(ただし、交通費等は自己負担となります)  
主催： 一般社団法人運動会協会  
協力： 未来の体育を構想するプロジェクト

特設WEBサイト

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/>

チラシPDF

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/home/chirasi>

お問合せ先

<https://sites.google.com/view/2019sportskyoso/home/otoiawase?authuser=0>

※また、直近では8月3日(土)にも松本大学でスポーツ共創ワークショップが開催されます。詳細は以下特設サイトをご覧ください。

特設WEBサイト

<https://sites.google.com/view/yugakujiyuku20>

## 第3回ジャパンSDGsアワードの公募開始

持続可能な開発目標(SDGs)推進本部は、SDGs達成に資する優れた取組を行っている、日本に拠点のある企業・団体等を表彰する「第3回ジャパンSDGsアワード」の公募を開始しました。スポーツ庁では、昨年9月に「スポーツ国際戦略」を策定し、スポーツを通じてSDGsに掲げる社会課題の解決に対して最大限の貢献をしていくこと、すなわち「スポーツSDGs」を目指しています。そこで、スポーツ分野でSDGs達成に向けて取組をされている総合型地域スポーツクラブのみなさまにはぜひ積極的にジャパンSDGsアワードに応募いただきたく、周知いたします。

### 【ジャパンSDGsアワードとは】

SDGs達成に資する優れた取組を行っている、日本に拠点のある企業・団体等をSDGs推進本部として表彰するもので、NGO・NPO、有識者、民間セクター、国際機関等の広範な関係者が集まるSDGs推進円卓会議構成員から成る選考委員会の意見を踏まえて決定されます。詳細な情報は、外務省HP(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/award/index.html>)をご確認ください。

### 【公募期間】

2019年8月5日(月)～2019年9月30日(月)

### 【表彰の種類】

- ①SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞 1件
  - ②SDGs推進副本部長(内閣官房長官・外務大臣)賞 4件程度
- ※その他、特筆すべき功績があったと認められる企業・団体等について、特別賞を付与する場合があります。

### 【応募方法】

外務省HP(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/award/index.html>)へアクセスし、応募用紙を下記のメールアドレスまで送付ください。

E-mail: [sdgs.secretariat@mofa.go.jp](mailto:sdgs.secretariat@mofa.go.jp)

### 【結果発表】

結果は、12月下旬頃に首相官邸HP及び外務省HPで発表される予定です。

### 【応募に関するお問い合わせ先】

外務省国際協力局地球規模課題総括課「ジャパンSDGsアワード」担当  
電話:03-5501-8000 (内線:3801・2748・4115・3745)

E-mail: [sdgs.secretariat@mofa.go.jp](mailto:sdgs.secretariat@mofa.go.jp)

## スポーツ庁「第3回パブコン～もしもあなたがスポーツ庁長官だったら～」 国民のスポーツ実施率向上のための事業プランの公募

スポーツ庁では、第2期スポーツ基本計画において、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%程度とする目標を掲げています。

その達成に向けて、あらゆる方策を検討し実行するとともに、国民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、スポーツ実施率向上のための事業プラン及び動画を募集しています。

最終選考には古坂大魔王さんとオリンピック(予定)を審査員としてお招きする予定です。

また、長官賞の副賞として「1日スポーツ庁長官体験」を用意しており、一生に一度の特別な体験をしていただく1日をご提供させていただきますので、奮ってご応募ください！

スポーツ庁パブコンホームページはこちら

<https://pubcon3.mext.go.jp/>

\* 受付期間: 令和元年10月17日(木)～令和元年12月26日(木)

\* パブコン=パブリック・コンペティションの略

## ■令和元年度生涯スポーツ功労者が決定しました！

生涯スポーツ功労者表彰は、国が地域または職域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、地域におけるスポーツ振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者を表彰するものです。今年度は生涯スポーツ功労者163名、生涯スポーツ優良団体117団体が決定され、日本スポーツ協会からは総合型地域スポーツクラブ育成指導者として9名を文部科学省へ推薦し、「生涯スポーツ功労者」として決定されました。

生涯スポーツ功労者一覧については以下のURLを参照ください。

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4050>

## ■ラグビーワールドカップ2019™日本大会情報

アジアで初、ラグビー伝統国以外で初となるラグビーワールドカップが、この日本で開催されます。世界最高峰のラグビーをぜひお楽しみください。

開催期間 2019年9月20日(金)～11月2日(土)

参加チーム 20チーム(下表をご参照ください。)

試合形式 プール戦 5チーム×4プール(プール内総当たり戦):40試合

決勝トーナメント 準々決勝/準決勝/3位決定戦/決勝:8試合

プール表

プールA	プールB	プールC	プールD
アイルランド	ニュージーランド	イングランド	オーストラリア
スコットランド	南アフリカ	フランス	ウェールズ
日本	イタリア	アルゼンチン	ジョージア
ロシア	ナミビア	アメリカ	フィジー
サモア	カナダ	トンガ	ウルグアイ

試合会場 日本全国12会場  
 開催都市 札幌市、岩手県・釜石市、埼玉県・熊谷市、東京都、神奈川県・横浜市、  
 静岡県、愛知県・豊田市、大阪府・東大阪市、神戸市、福岡県・福岡市、  
 熊本県・熊本市、大分県

大会の詳細はこちら(試合日程や大会の最新情報をご覧ください)。

<https://www.rugbyworldcup.com/>

## ■ワールドマスターズゲームズ情報

### 2021年は「する」スポーツの年ワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」は概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。アジア初開催となる第10回大会は日本・関西で開催します。

開催競技は卓球やバドミントン、サッカー、グラウンド・ゴルフなど、35競技59種目。あなたがこれまでやってきた競技もこれからチャレンジしたい競技もきっとあるはずです。レクリエーション部門を設けている競技もあり、初心者の方も楽しめる大会です。障がい者の方も健常者と同じルール、同一日程・会場で参加できる競技もあります。

開催競技はこちら

<https://wmg2021.jp/games/list>

関西各地域で行いますので、スポーツを楽しんで、翌日は関西の温泉・グルメ・レジャーなど観光を楽しむことも。

エントリーは大会エントリーサイトにて

2020年2月1日AM10:00から先着順で受付を開始します。

大会の詳細はこちら

<https://wmg2021.jp/>



大会マスコット兼PR大使  
スフラ

## クラブアドバイザーも資質・技術の向上を目指しています!

クラブを運営されているみなさまに寄り添って活動をしているクラブアドバイザーは、資質と技能の向上のための研修を毎年受けています。その研修の様子をご紹介します!

### クラブアドバイザーとは?

クラブアドバイザーは、総合型クラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしていけるよう、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。日本スポーツ協会では、令和元年度は27道府県体育・スポーツ協会に27名のクラブアドバイザーを配置しています。

### クラブアドバイザーミーティングとは?

日本スポーツ協会が配置しているクラブアドバイザー等を対象に、その資質と技能の向上を図ることを目的に実施しています。

今年度は、「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」、「中間支援組織の2021年度からの運用に向けて」をメインテーマに、5月30日(木)・31日(金)の日程で行われました。

## 1日目 5/30(木)

### ▼説明▼

- ・ 「平成30年度スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」について
- ・ 総合型クラブ登録・認証制度の検討状況について

説明者: 日本スポーツ協会 クラブ育成課職員

日本スポーツ協会職員から、日本スポーツ協会が昨年度受託し実施したスポーツ庁委託事業「平成30年度スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」において作成した報告書の概要について説明しました。

また、日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会としての「登録・認証制度原案(案)」の概要、制度運用までのスケジュール等について情報共有を行いました。

### ▼講演兼アイスブレイク▼

「一瞬で相手の心を引き付ける、プレゼンテーション力」

説明者：佐藤 美咲氏(株式会社 ボディチューン・パートナーズ)

クラブアドバイザーは、クラブ訪問等において、伝える力が特に重要視されることから、昨年度に引き続き「プレゼンテーションスキル」にスポットを当て、佐藤氏に講演いただきました。

講演では、相手を理解するためのソーシャルスタイル理論や相手の感情プロセスのほか、感情を踏まえたコミュニケーションとしてDESC法※について学びました。

＜参加者の感想(一部)＞

- 話し方、コミュニケーションの取り方を自身の中で整理することができた。
- 今後、話し方を工夫し、相手に伝えていけるようにしたい。

※DESC法：相手に言いづらいことを伝える際の技法の一つ。

客観的に事実を伝え(Describe)、  
自分の意見を表現し(Express)、  
事実・意見を踏まえた代替の提案をし(Suggest)、  
提案の結果を可視化する(Consequence)こと。



2日目 5/31(金)

### ▼説明▼

- 登録・認証制度原案(案)における登録手続きに関する「事務局マニュアル」概要および登録申請書類と審査方法について
- 登録・認証制度原案(案)と中間支援組織の関係について

説明者：日本スポーツ協会 クラブ育成課職員

日本スポーツ協会職員から、登録・認証制度原案(案)における登録申請書類および登録手続きの流れについて説明したほか、平成30年度「スポーツ活動支援事業(総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)」報告書において示された登録・認証制度と中間支援組織の関係について説明しました。

## ▼グループワーク▼

「登録申請書類(申請書類⑦. 総合型クラブの評価指標を用いた自クラブの自己点検・評価の結果)を基にクラブへの支援内容を考える」

登録・認証制度原案(案)において示された登録手続きには、登録を希望するクラブが登録申請を行う際に提出する書類の中に、「持続可能な総合型クラブの推進に向けた取組の指針と評価指標※」を用いた自己点検・評価の結果が含まれています。

この自己点検・評価の結果は、クラブ自身がこの結果を基に自クラブの運営状況の改善・充実につなげるために活用できるほか、中間支援組織が支援内容を検討する際に活用することもできると考えられます。

そこで、グループワークでは、「今後の総合型クラブへの支援を考える」をテーマに、まず各都道府県が現在行っている総合型クラブへの支援内容を共有した後、クラブから提出される自己点検・評価の結果を踏まえた今後の総合型クラブへの支援の在り方や内容について検討しました。各グループの発表では、今後の総合型クラブへの支援にあたり、「総合型クラブの認知度向上のための支援」、「総合型クラブと行政・企業等が連携するための支援」等に関する提案がなされたほか、「集合研修といった県内クラブ全体への包括的な支援ではなく、個々のクラブに対する個別の支援が特に必要となるのではないか」との意見も出されました。

今回参加者からいただいた意見は、今後日本スポーツ協会が登録・認証制度や中間支援組織を検討する際の参考とします。

※平成26年度に日本スポーツ協会が文部科学省から受託し、作成。詳細は日本スポーツ協会ホームページよりご覧いただけます。

<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1065.html>

